

# お口の健康情報室

口やその周辺にもがんはでき、「口腔がん」と総称されます。舌や唇、歯肉などの粘膜に発生します。近年増加傾向にあり、特に歯があたる舌の側縁に多く発生します。男性の罹患率が高く、50歳くらいから増加しています。口腔がんは、たばこ、アルコール、刺激の強い食べ物、合わない入れ歯や放置したむ

## 口腔がん 発見遅れがち

歯などによる粘膜の損傷など、慢性的な刺激によって発生します。直接目で見えるがんですが、初期はほとんど無症状のため、気づくことまで進行がんになっていることが多くあります。初期に適切な治療をすれば、ほぼ治癒しますが、進行するほど治癒率は低下するため、早期発見・早期治療が重要です。口内炎が2週間以上治らない、粘膜にただれやできものができているなど、気になる症状がある場合は、かかりつけの歯科医院に相談しましょう。

う。また、口腔がん検診を行っている市町村もありますので、有効に活用して下さい。健全な生活習慣と口腔内の管理が予防の秘訣です。  
(千葉県歯科医師会)



日本歯科医師会PRキャラクター「よ坊さん」(千葉・当地版)